

## —— 股下高位周径と転子点位周径について ——

群馬女子短大

田口 和子

目的 短大女子学生のシルエット写真によると、下半身における横径最大位が転子点位より下方にある者が多い。そのため横径最大位を股下高にあると設定し、転子点位の横径及び周径との比較、検討を行ない、下半身の体型を把握する。

方法 被検者 100 名について、ガードル着用立位正常姿勢で計測を行なった。計測項目は、身長、胸高、転子点高、膝関節高、胴囲、転子点囲、股下高囲、胴囲横径、転子点横径、股下高横径、体重である。体型観察と、計測誤差をさけるため（特に股下高囲）周径と横径はスライディングゲージの横断面を計測する方法で行ない、他はマンチンの人体計測器を用いた。

結果 股下高囲と転子点囲との差は、 $-3.7\text{ cm} \sim +7.2\text{ cm}$ であり、被検者の 90% は股下高囲の方が転子点囲より大である。なお、股下高横径においても被検者の 95% が転子点位より大であることが示された。

股下高横径と周径、転子点横径と周径、股下高横径と転子点横径の間には、高度の水準で一次相関が認められた。